町立病院は、適切な医療提供に24時間対応しています。　具合の悪い時はいつでもご相談ください。　☎0237-74-2211

月山朝日観光協会イメージキャラクター「ガッさん」

NETWORK にしかわ

2024 令和6年 6月号 No.819

- 主な内容 -

P2 │ 各地区ミニデイ開催を応援します！
P6 │ まちづくりNews

いきいき健幸高齢者支援

各地区のミニデイ開催を応援します！

年齢を重ねていく中で、病気や周りの環境などが変化し、誰もが何かしらの支援が必要となる可能性があります。

高齢になっても住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らしていくために、町では「地区介護予防教室（ミニデイ）」の活動を応援しています。

生活支援コーディネーターや集落支援員とともに各地区ミニデイの開催支援、立ち上げ支援に力を入れていきます。

介護予防とは？

介護予防とは、次のことをいいます。

①元気に自立して過ごせる期間「健康寿命」を伸ばすこと

②要介護の状態にならないこと

③要介護状態になっても、その悪化を防ぐこと

介護が必要になる原因はさまざまですが、「運動（体力）」「食生活（栄養・口のはたらき）」「社会参加（とじこもり予防）」「認知症予防」を組み合わせて取り組むことが、介護予防には大切です。

各地区ミニデイ開催のために

地域のつながりの希薄化や体力の低下などで家に閉じこもりがちになる高齢者がいます。どの地区にお住まいの方でもいきいきとした生活を送ることができるよう各地区の福祉サービスの均一化を目指し、地域コミュニティの活性化を図ります。今年度は、全地区でのミニデイ開催を目指し、支援していきます。

6月4日、ミニデイ対話会を開催しました。ミニデイの開催再開地域と既存開催地域に参加いただき、ミニデイ開催に対する情報交換を行いました。

▲対話会の様子

福祉バスや出前メニューの活用

これまで年2回までとしていた福祉バス利用の制限をなくし、町内外問わず無料で利用いただけます。

6月オープン予定の「TRAS（トラス）」や温泉館などの町内施設の利用や見学はもちろん、交流を兼ねたミニデイ合同開催などにもご利用ください。

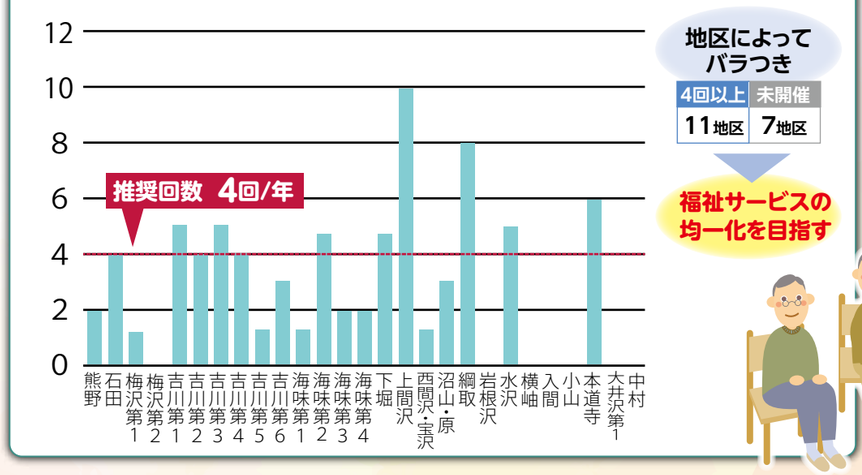
また、タブレット「つながるくん」操作講習や、無料のミニデイ出前メニューも活用ください。

保健師・管理栄養士による健康講話やスポーツ推進委員による軽スポーツ、危機管理係による防災講座などありますので、お気軽にお声がけください。

令和6年度ミニデイ出前メニュー

1. 健康講話・レクリエーション・簡単な体操
2. 軽スポーツ
3. 防災講座
4. タブレット操作研修
5. 地域おこし協力隊・インターンとの交流会
6. 消費生活出前講座
7. 交通安全教室（講座）
8. 唄や踊り、民謡、フラダンス
9. 大黒舞、詩吟
10. 語り、寸劇
11. ギター演奏
12. 絵手紙教室　　など

令和５年度ミニデイサービス開催実績（地区別）



各地区ミニデイの紹介

5月16日、沼山・原区で開催。参加者は16名。タブレット講習や町の保健師による健康講話やレクリエーション、簡単な体操などを行いました。

=======参加者の声=======

・家で一人でいるので話すのが楽しい。
・話せる場・集まる場があって良い。
・介護予防についてためになることを勉強しながら楽しく過ごせる。
・あまり会う機会がない人と交流ができる。

5月27日、石田町内会で開催。参加者は13名。ケアハイツ西川さんと簡単な体操や風船バレーなどを行いました。また、地域おこし協力隊の皆さんに参加いただき、交流を図りました。

=======参加者の声=======

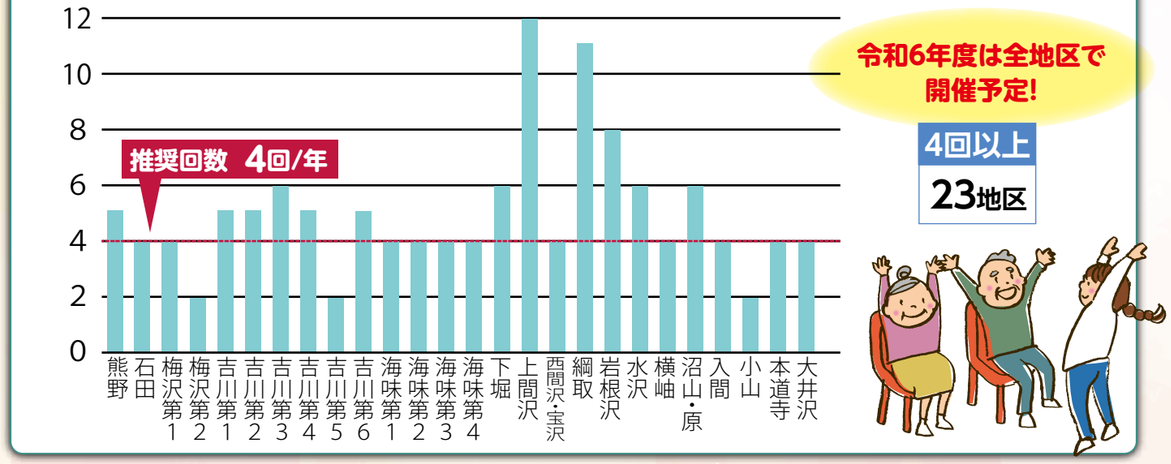
・町内の人と顔を合わせられる機会となっている。
・運動などで体を動かせたりできて助かる。
・地域の人が集まる場があるのは良い。みんなで交流できて楽しい。たくさんの人に参加してほしい。

5月31日、吉川第3町内会で開催。参加者は13名。町職員による認知症についての寸劇や健康体操などを行いました。

=======参加者の声=======

・集まる機会が少なくなっているので、ミニデイを開催してもらってありがたい。
・みんなと顔を合わせて、元気な姿を確認して楽しく話す場となっている。
・年々、参加者が少なくなっている。たくさんの人に参加してほしい。

令和6年度ミニデイサービス開催予定（地区別）



菅野大志の

「いどばた会議」 vol.23

まちづくりに関する活動や近況などを
西川町長・菅野大志が綴ります。

1. ミニデイをたくさん開催! ぜひぜひ、ご参加ください

(1) 課題と目的

地域が主体となり、地域ごとに集まって体操や食事、温泉にはいったりと、さまざまな活動を通して健康寿命を延ばし、人と人を結ぶミニデイ活動。これは、私も、吉川、上間沢、綱取で参加させていただきましたが、山菜のこと、困っていること、健康のことなどの情報を交換しながら、みんな笑顔になる活動でとっても大切であると感じています。だからこそ、町は、1回開催あたり 10,000 円、参加者1人当たり 200円を支援してきました。

しかし、人口減少やコロナ等により、地域での運営が厳しくなり、各地域で差が出てしまいました。令和5年度は、4回以上の開催は11地域、西部を中心に未開催は7地区と地域差が…。(P2 のグラフをご覧ください) 本来、福祉サービスは誰もが等しく受けるものです。ここが西川町の東西問題と認識しました。

(2) 課題を踏まえた対応

問：なぜ、今、ミニデイか。

・コロナを契機に激減したミニデイは、コロナ後の再開に地域差があります。これまでの開催後の支援に加え、地域が開催してもらえるように開催前の支援を強化しないと、地域差がついてしまいます。

問：なぜ、各地域で開催ができなくなってきたのか?の声を踏まえ、

・運営を行う人がいない。また、少なくて地域だけでは開催が難しい。
　➡西部を中心に保健師と集落支援員（本道寺、大井沢）の増員・派遣。
・従来の開催主体である老人クラブの解散
　➡地区で運営が異なり、公民館が支援する地域もあります。再開に向けて情報共有が必要。

問：町に予算やマンパワーはあるのか?

・令和6年度は、高齢者福祉を再構築する元年と位置付けています。
　デジタル住民票発行・サウナ売却の歳入で得たお金 1,000 万円以上を高齢者支援基金に貯めています。 これらを有効に使っていきます。また、春に保健師1名を採用したほか、町職員が補助金にチャレンジして、タブレットを活用した地域活性化の予算をとりました。

(3) 令和6年度の開催予定や支援

❶ミニデイ再開に向けて、健康福祉課を中心に地域で対話し、町が支援できることや気持ちの面で再開しようと思ってもらえるように寄り添いました。それに地域が応えてくれました!

	開催ゼロの地区	4回以上開催の地区
令和5年度　実績	11	7
令和6年度　予定	0	23

❷6月4日、地域が運営しやすいように、各地区の情報交換を目的とした対話会を開催。40 名以上に参加いただき、熱量を感じた対話会でした。

❸今後、お茶のみ拠点をつくってもらえる各地区集会施設や店舗に対して、改修支援金を6月補正予算に提出。財源は、デジタルで稼いだ「高齢者支援基金」です。

6月4日ミニデイ対話会を開催

今月の大ニュース!

『ミニデイをたくさん開催予定！
　どこでも福祉サービスを等しくいきいきと！』

ご登録お願いします！

▲町公式LINE　▲オープンチャット

2. 間沢の交流施設（TRAS/トラス）完成!
6月30日（日）10：00 ～オープン

トラスは、「あいべ」の向かい側にあり、地区を越えて町民と町民、あるいは町民と西川ファンの交流を進め、関係人口・西川ファンを増やすための施設です。延べ10回に上る対話会を重ねて、みんなの台所、コインランドリー、会議室、子どもの遊び場など、対話会でいただいた意見を踏まえた「こうなったらいいな」という施設になっています。これまで対話会に参加いただいた、延べ 300 名以上の皆さまありがとうございました。おかげさまで、シェアオフィスには町外企業が5社程度、入所いただきます!西川の工芸品を随所に感じられるようになっています。ぜひ、6月30日のオープニングイベントにお越しください!

完成したトラスで

3. 今年は、町制施行70周年! 7月27日(土)に記念イベント!

西川町は、4つの村が合併し「西川町」となって70年の節目の年を迎えました。

西川町の総合計画を策定する際、開催してほしいという声が最も多かったのは、月山湖で開催していた花火大会です。「月山湖で花火大会を開催していた頃の西川町は元気だった。開催してほしい」「花火大会がなくなってから元気がなくなった」という声をいただきました。

今年は、観光課・かせぐ課・月山朝日観光協会の頑張りにより、国からの補助金を得て花火大会を復活できそうです。会場は、あいべ周辺の予定です!

昨年の対話会の様子

4. 山の恵みをなんとか雇用に! 総合開発が綱取、大井沢で実践

現在、西川町総合開発には、ふき、なめこ、わらびの加工品がほしいとの声をいただきます。しかし、まとまった量がとれず、お断わりすることもしばしば。もったいない。

このため、山菜づくり、きのこづくりをして西川のおいしいものを東京に届けたい、また、西川に帰ってきたい方のためにも雇用を増やしたい!そんな思いから、大井沢の皆さま、綱取の皆さまから教えてもらい若手と一緒にチャレンジしています!

大井沢

5. 西村山広域消防の皆さま、西川消防団の皆さま、本当にありがとうございました

最近、県内でも林野火災、住宅火災が続いています。休日の夜、大井沢で発生した火災では、西村山広域消防、西川町消防団の皆さまが、深夜から朝方まで 6 時間以上にわたる必死の消火活動にあたっていただきました。ありがとうございました。特に、西川町消防団は、当日の朝に消防演習訓練を実施した後であったため、その疲労は想像することができないくらいです。日頃の訓練を通じて、組織的に迅速な指示・行動により延焼することなく鎮火に至ったのだと思います。今、空気が乾燥しています。火事は、一瞬にして財産を奪います。その通りです。火の取扱いに気を付けていきましょう。

綱　取

町有林運営委員に3名を委嘱

各地区で利用されている町有林の運営について審議する町有林運営委員会の委員（学識経験者）に荒木周一さん、松田昌一さん、渋谷智之さんの3名の方が委嘱されました。任期は4年です。

▲荒木周一さん

▲渋谷智之さん

▲松田昌一さん

森林の有効な活用に向けて！林道の災害復旧工事完成を祝う

沼山・原地内を走る林道蒲谷地線の開通式及び竣工式が、4月19日に執り行われました。

同林道は令和2年7月の豪雨により道が崩落する大規模な災害が発生し、約3年をかけて全線の復旧工事が完成しました。

当日は沼山地区や原地区、町の関係者など約20人が出席し、神事を行って林道の安全を祈願。式の中で荒木一範沼山区長は「復旧した林道を活用して、将来に向けた森林の適正な保全管理に取り組んでいきたい」と力強くあいさつしました。

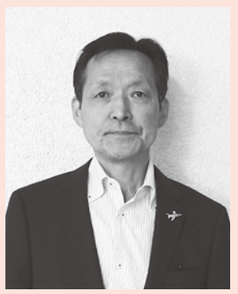
▲安全祈願の様子

自衛官募集相談員2名に委嘱状を交付

5月10日、役場町長室で、自衛官募集相談員の委嘱式が行われ、荒木政幸さん（沼山）と武田孝吉さん（間沢）のお二人に、自衛隊山形地方協力本部長と菅野町長から自衛官募集相談員の委嘱状が交付されました。

自衛官募集相談員の任期は2年で、お二人には、入隊志願者に関する情報提供や、自衛官募集に関する広報などの活動にご協力いただきます。

▲荒木政幸さん


▲武田孝吉さん

企業版ふるさと納税寄附企業に感謝状贈呈

株式会社スマート・リソース様

㈱スマート・リソース（本社：東京都千代田区）から企業版ふるさと納税を活用したご寄附をいただきました。

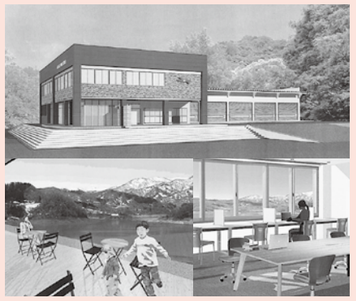
5月23日、菅野町長より渡邉博代表取締役に感謝状が贈られました。

▼寄附内容：ヒートポンプと機械一式
▼寄附活用：水沢温泉館への導入

月山カヌーセンター（仮称）の起工式を挙行
～カヌーに留まらない多種多様な関係人口・交流人口の拡大を目指して～

艇庫やトイレ、コワーキングスペース等の機能を有する月山カヌーセンター（仮称）の起工式が、4月27日に月山湖まねきの丘の建設予定地で挙行されました。式は、農林水産副大臣で衆議院議員の鈴木憲和様、最上川ダム統合管理事務所長の福田修様、山形県観光文化スポーツ部長の大泉定幸様をはじめ、町議会議長の菅野邦比克様、地元本道寺地区会長の山内善信様、大井沢ふるさと民宿旅館組合長の佐藤耕二様など約20名の関係者が参列し、工事の安全祈願も含め厳かに進められました。

建物は、来年3月末に本体工事の工期末を迎え、4月以降に外構工事の一部と、備品等の購入設置を経て、令和7年6月末に竣工予定。竣工後は、カヌースプリント競技の全国規模大会や合宿の招致活動はもとより、レジャーカヌーやSUP（サップ：スタンドアップパドルボードの略語）など新たな観光誘客を促進する事業、さらにはパソコンやスマートフォンなどを使ってインターネットを介して仕事ができるコワーキングスペースの整備により、デジタル技術を活用した新たな来訪者獲得も意識し、町の関係人口・交流人口の拡大や地域経済活性化に大きく寄与する施設を目指します。


▲完成予想図
（上：外観、左下：テラス、右下：コワーキングスペース）

▲起工の儀を行う菅野町長

さらなるファン獲得に向けてサウナ対話会を開催

5月10日、水沢温泉館で「サウナ対話会」を開催しました。水沢温泉館のお客様満足度向上、サウナによるコミュニティ形成を目的とした本会では、約30名のサウナファンによるさながらサウナ室のような熱い意見交換が行われました。

今回いただいた貴重なご意見を反映し、更なる水沢温泉館のファン獲得に向け取り組んでまいります。

▲活発な意見交換が行われる

商工会員と菅野町長の対話会を実施しました！

5月22日、町商工会の総会に先立ち、商工会員と菅野町長との対話会を実施しました。本会では、現在の町の取り組みや複業人材を活用した地域の課題解決事例など、両者による熱い意見交換が行われました。

今後とも商工会と町は、両者一丸となった持続可能な経済づくりを目指して、地域課題解決に向けた対話を重ねていきます。

▲対話会の様子

「つながるくん」の配備がまもなく完了します!
～誰一人取り残さない社会を目指して～

■「つながるくん」各地区配布状況

大井沢地区でも100%を達成!!残りは4地区8世帯。まだお持ちでない方はぜひ、下記までご連絡ください。

「つながるくん」受取調整連絡先　①080-9258-0499　②080-8085-5606

●各地区配布率（5 月末現在）

配布率	区数	区名
100%	9	綱取、岩根沢、水沢、原、沼山、入間、小山、本道寺、大井沢
99%以上	4	睦合、海味、間沢、吉川

■「つながるくん」講習会を開催!

沼山地区・原地区からの要望によりミニデイで「つながるくん」の講習会を実施しました。沼山地区・原地区では今年度4回の講習会を予定しています。あまりタブレットの使い方に慣れていない方に基本的な操作を学んでいただきました。また、個別にわからないことの質問の受付もしています。

講習会はご要望があれば随時受付しています。ぜひ、お問い合せください。

■「つながるくん」ホームページができました!

町の公式ホームページに「つながるくん」のページができました。使い方動画やおかしくなった時のQ&Aなどがご覧いただけます。「つながるくん」の新しい情報も随時更新していきます。

「つながるくん」からは便利機能の「つながるくん使い方」を押してください。

▲こちらからどうぞ

■町からのお願い

町からのお知らせを受信できていない「つながるくん」があるようです。

まもなく「つながるくん」を活用し、素敵な商品がもれなくもらえるアンケートが始まる予定です。町からのメッセージを受信できないとアンケートに参加できません。また、防災無線戸別受信機の代わりになるものです。必ず電源の確認をお願いします。

「つながるくん」に関するお問い合わせは、お気軽に下記までご連絡ください。

【お問い合わせ】
西川町企画財政課　つながるくん担当　黒田・松田・阿部・渋谷
Tel：0237−74−4403
mail：digital@town.nishikawa.yamagata.jp

地域おこし協力隊通信

着任のあいさつ

横山　峻平

西川町の皆さん初めまして。長野県松本市から参りました地域おこし協力隊の横山峻平と申します。堅いあいさつは苦手なので、今回はこの場を借りて少し自分のことを知っていただけたらと思います。

自分は今年の2月に初めて山形県西川町を訪れましたが、その2か月後には協力隊になることを決めていました。西川町での体験はそのくらい強烈で魅力的でした。

現在は西川町総合開発株式会社に所属し、銘水館の売店や、令和6年度インターンの受け入れ、ぴんしゃん広場の企画運営に携わっています。

今後は、自分の好きなボードゲームという切り口で皆がふらっと集まれる場所づくりができたらと思っています。突然ボードゲームというとあまりピンとこないかもしれませんが、世界にはオセロや人生ゲームとは違った魅力的なボードゲームがたくさんあります。楽しさを伝える自信はめちゃくちゃあるので、ぜひ興味持ってもらえたらうれしいです。

最後になりますが、非常に分かりやすい見た目をしているので、ぜひぜひ気軽にお声がけください!よろしくお願いします!

▲さまざまなボードゲーム

▲インターン生受け入れ打ち合わせの様子

図書館さ、いぐべ～。

お問い合わせ
西川小学校図書館　☎85-0077

■町内施設で巡回図書を行っています

西川町図書館では、図書館サービスの一環として施設を巡回し、図書の貸出を行っています。現在巡回している施設は下記の7か所（トラスに関しては巡回予定）です。

巡回希望の施設がありましたら、西川小学校図書館までお問い合わせください。

西川中学校	大井沢支所	子育て支援センター	丸山薫記念館	交流センターあいべ	水沢温泉館	トラス
木曜日放課後（16：00～）	第2火曜日	隔月巡回	第4木曜日	保育園留学にあわせて	隔月 第2火曜日	隔月 第4木曜日

※開催されない場合もありますので、詳しくは西川小学校図書館までお問い合わせください。

■サークル「ぴーつく」おはなし会

日時：6月15日（土）　10 時 30 分から

★なまえのないねこ
★うちのきんぎょ
★もじもじこぶくん　　ほか、こうさくもあります

Congratulations!

～おめでとうございます～

それぞれの道で輝く皆さんの功績を称え、ご紹介します。

※敬称略

トラヤワイナリーがワインコンクールで受賞！

月山トラヤワイナリーのワインが、2つのワインコンクールにおいて受賞し、5月22日、菅野町長へ受賞報告を行いました。

フランスの5大ワインコンクールの一つである「フェミナリーズ世界ワインコンクール2024」において、「月虎マスカットベーリーA2019」「月虎マスカットベーリーA2020」の2つが金賞、アジア最大のワイン審査会である「サクラアワード2024」において、「GASSANSAN-ROKU ロゼ」が2年連続で金賞、「月山山麓マスカットベーリーA樽熟成2019」が銀賞を受賞しました。

受賞を受け、「ぶどうの生産者、ワインの醸造に関わる方々、応援してくれる方への感謝を忘れず、常に謙虚な気持ち、原点回帰の心でこれからも励みたいと思います」と話しました。

▲報告に訪れた大泉匡寛さん（左）と大泉奈緒子さん（右）

町民の人命救助に尽力 町功労者表彰が贈られる

町内で発生した救命事案について迅速かつ的確に人命の救助を行ったとして、トーホークレーン株式会社（青山龍平代表取締役社長）と同社社員の柏倉竜弥さん、青山建設株式会社元社員の阿部勇一郎さん（間沢）に町功労者表彰が贈られました。

6月10日、役場第2庁舎で表彰式が行われ、菅野町長より3名に表彰状と記念品が手渡されました。

▲左から阿部勇一郎さん、青山龍平社長、柏倉竜弥さん

「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に玉谷製麺所が選定されました！

経済産業省中小企業庁が全国から選定している「はばたく中小企業・小規模事業者300社2024」の海外展開部門において、玉谷製麺所が選定されました。

「はばたく中小企業・小規模事業者300社」とは、経営資源の有効活用やITサービス導入等による生産性向上、積極的な海外展開やインバウンド需要の取込みなど、様々な分野で活躍している中小企業・小規模事業者を表彰する制度です。

玉谷さんは『雪の結晶』という海外向けの商品を開発できたのも西川町のおかげ。受賞を機に町の誇りになれるような企業になったと思う。大変ありがたい」と話しました。

▲報告に訪れた玉谷貴子さん

はつらつとしたプレーで爽やかな汗を流す 第53回西川町壮年親善ソフトボール大会

5月19日、第53回西川町壮年親善ソフトボール大会が町民グラウンドで開催されました。町内各地区から6チームが参加し、各チーム白熱した試合を繰り広げ、世代や地区を超えた交流を深めていました。優勝したK-1チーム（海味）は、8月4日に開催される西村山地区ソフトボール大会に町代表として出場します。

＝大会成績＝

▽優勝＝K-1（海味）▽準優勝＝海援三太郎（海味）▽第3位＝睦合アベンジャーズ、吉川壱番組

▲優勝したK－1チームの皆さん

地域とともに歩む西川町立病院

町民の皆さんのご意見とその対応

昨年7月24日、約50名の皆さまにご参加いただき「町立病院対話会」を開催しました。この時に集約したご意見の内容は病院のホームページに掲載していますが、一部に対して、現時点で病院としての考え方や現状をご紹介いたします。

病院の経営に関すること

問 ホームページで経営状況など病院の情報を発信してほしい。

答 今年度から毎月の町広報紙で病院の情報を紹介しています。状況なども今後掲載する予定です。

問 経営努力をするべき。

答 町では新たにデロイトトーマツ社など連携企業からアドバイザーに就任いただき、経営を改善していきます。

診療や救急に関すること

問 タブレットでの診療受付やオンライン診療等のデジタル化を目指してほしい。

答 昨年度から県の実証事業でオンライン診療を始めています。今後は「つながるくん」を利用して実施できるようにしていきたいと考えています。

大井沢診療所でのオンライン診療

問 整形外科の医師と町立病院医師の定期受診の曜日を同じにしてほしい。

答 整形外科の診療を行う「外来③」の診察室は、同時に2人の医師が診察できる環境ではないため、同じ曜日にすることはできません。

問 夜間診療は大変ありがたいが、予約以外の受入れもしてほしい。

答 完全予約制で月2～3回実施する夜間診療は、医師1名での診察のため受け入れられる人数に限りがあり、予約以外の対応は困難です。

問 土、日、祝日、夜間の受入体制を充実してほしい。

答 急患は24時間365日の対応を行っています。休日や夜間は医師1名、看護師1名での受け入れです。急患の可能性もありますので、来院前にお電話お願いします。

検診や入院に関すること

問 健診事業は非常に助かっている。

答 令和5年度は約1300人の方々が町立病院で健診や一泊ドックを受けています。6月の健診を希望する方が非常に多く、9月頃であれば今からでも受入れ可能です。

問 非常に低い病床利用率を高めていく必要がある。

答 これまで以上に町外の患者受入れを行います。

また、病院経営プランに基づき、令和7年3月を目途に一般病床43床を28床に減らして利用率を高め、経費の削減に努めます。

病室（一人部屋）

最も大切なこと

問 誰もが気軽に相談できる病院になってほしい。全ての患者と寄り添える医療従事者であってほしい。

答 常に患者さんのことを理解し、適切な対応を行う「接遇」の実践は、全職員に求められる重要なスキルです。そのために必要な研修、職員教育を秋ごろに実施する予定です。

西川町保健センター

まちの保健室より

町の保健師・管理栄養士からのお知らせです

■ むし歯よりもこわい「歯周疾患」

6月は「歯の衛生月間」

歯周疾患は歯垢(細菌の塊)によって歯を支える骨や歯肉との付着が失われる病気です。
歯周疾患は『Silent disease(静かなる病気)』とも呼ばれ、自覚症状がなく進行し、気づいた時には歯を抜かなければならないということもあります。また、歯周疾患は日本人が歯を抜く原因の第一位になっています。

歯と歯肉を守るためのポイント

①プラークコントロール

「食べたらみがく!」が大切です。正しいブラッシングの習慣が歯周疾患を起こしにくい環境を作ります。

②定期検診

一度ついてしまった歯石はブラッシングで取り除くことは不可能です。定期的に検診を受け、チェックしてもらうのが健康な歯肉を保つ秘訣です。

③規則正しい生活習慣

歯周疾患は生活習慣病です。良い生活習慣を長く続けることが歯周疾患だけでなく、全身の健康維持に大切なことです。

■ やったね!むし歯ゼロのおともだち(3歳児健診　4月17日実施)

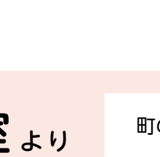
吉田芽生(よしだめい)さん

長谷川秋津(はせがわあきつ)さん

土田栞那(つちだかんな)さん

中村 圭(なかむらけい)さん

伊藤貢先生の
元気アップ！運動教室 PART311



今月のテーマ：

熱中症に注意して、上手に運動しましょう①

高齢者・小児・体力レベルの低い人・肥満者(体表面積が相対的に少ない)・40歳以上の方は熱中症になりやすいと言われています。
また、梅雨の時期にも発生のリスクが高いと言われています。まだ暑さになれていないことに加え、湿度も高いことから、風通しの悪い室内でも起こります。運動する際には、運動に適した環境で安全に行いましょう。
毎週水曜日の14時から、西川町民体育館で「楽楽運動教室(奇数週)」「ゆる楽運動教室(偶数週)」を開催しています。教室は、健康運動指導士が担当し、安全に配慮しながら運動を行います。定期的に体を動かす機会として、ぜひご活用ください。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

参考・引用資料
健康運動指導士・健康運動実践指導者必携ハンドブック 2024-2025 生活習慣病予防のための運動指導の安全対策 熱中症の予防：環境因子と個体因子

背骨の動きを鍛え、動きやすい体をつくりましょう(片側5〜10回)

胸椎(胸部の背骨)の動きを意識してトレーニングしましょう。

●注意点●
①体に痛みを感じたときは、運動を中止してください。
②可動域制限がある方は、無理のない範囲で行ってください。

保育目標
●雪のようにきらきら輝く子　●緑のようにやさしくあったかい子
●太陽のようにつよくたくましい子

保育園コーナー

「きれいな花であたたかさいっぱいの保育園 自然の恵の気づきができるじゃがいも植え」

5月9日、年長さん(そら組)が、人権擁護委員の皆さんやおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に、人権のお話とじゃがいも植え、花植えを行いました。
おじいちゃん、おばあちゃんが子どもたちの畑の先生となり、「優しく、そっと土の布団をかけるんだよ」と教えながら、じゃがいもや花を植えました。
おいしいじゃがいもができるように、年長さん(そら組)が水やりをしながら観察し、収穫の日を楽しみに、お世話をします。
今後、大きくなったじゃがいもを収穫して、給食でいただく予定です。自然の恵に保育を通して気づくことができます。
たくさんのご協力ありがとうございました。

ぽっかぽかコーナー

ぱくぱくルーム「離乳食教室」

管理栄養士さんが離乳食の疑問を解決。同じ年齢を持つ親御さん同士、子育ての悩みも相談できます。

ハッピータイム

ジョー先生と一緒に絵本やダンス、手遊びで楽しい英語の時間。小さい子にも大人気です。

TOPICS

今月のまちの情報をお届けします。

歴史文化資料館の来館者数が1万人突破！

5月12日、西川町歴史文化資料館の来館者数1万人達成を記念し、セレモニーが開催されました。菅野町長や清野館長など関係者約20名が参加し、記念すべき1万人目の来館者である寒河江市の柴橋亘さんご家族に花束と記念品を贈りました。

柴橋さんは「栄えある1万人目ということで、このようなことはなかなかないこと。西川町の皆さまに大変感謝」と喜びを語りました。

▲関係者に祝福される柴橋さんと２人のお孫さん（写真前列中央）

西川小5年生が田植えを体験

5月23日、西川小5年生24名が小学校近くの田んぼで田植えを行いました。

裸足で田んぼに入ると、泥の感触に歓声を上げる子どもたち。泥に足をとられながらも丁寧に田植えを行っていました。

子どもたちは、「苗の量を考えながら植えるのは難しかったけど、楽しかった」「泥で足がとられて大変だったけど、感触が気持ちよかった」などと話し、貴重な体験を楽しんでいました。

▲田植えを楽しむ子どもたち

ふるさとの自然を未来へ 西川小学校「西川町緑の少年団」結団式

4月23日、「西川町緑の少年団」の結団式が西川小学校で行われました。

緑の少年団は、森林での学習や体験などを通じて、心豊かな子どもたちを育成することを目的に、町民の皆さんからいただいた緑の募金などを活用して活動を行います。

式では前田教育長が「西川町の目指す脱炭素のまちづくりにつながる活動なので頑張ってください」と呼びかけました。その後、児童代表者に団旗を手渡し、全校児童で誓いの言葉を宣言して今年度の緑の少年団の活動をスタートさせました。

▲森林や緑への理解を深めていきます

月山を眺めて牛達が成長 仁田山放牧場入牧

仁田山放牧場への放牧が5月29日から始まりました。今年度、仁田山放牧場には51頭の放牧が予定されており、この日は30頭が入牧しました。吉川の㈱福寿館や近隣市町の農家からお預かりした牛は、自然豊かな仁田山放牧場で約半年間飼育されます。

農家や県の機関などの関係者が体重・体高の測定や健康チェックを行い、牛たちは無事に放牧されていきました。

▲入牧作業の様子

皆さんの周りの身近な話題をお寄せください。つなぐ課町民つなぐ係
0237-74-2112　tsunagu@town.nishikawa.yamagata.jp

▲メール送信

大きくなって帰ってきてね 西川小6年生がサクラマスを放流

5月29日、西川小6年生24名がサクラマスの稚魚約3000匹を小学校裏の寒河江川に放流しました。

この放流は、県の魚・サクラマスに親しみを持ち、故郷について学習してもらおうと最上川第二漁業協同組合（大場一昭組合長）などの協力のもと毎年行われています。

児童は「人差し指くらいの稚魚が川で生きられるか心配」「戻ってきてくれたら嬉しい」などと話し、稚魚が戻ってくることを願いながら放流しました。

▲バケツを傾け稚魚を放流

台湾で西川町の魅力を発信

5月15日から19日に、菅野町長や町職員、NPO法人ランドナビにしかわの会員など12名が台湾を訪問し、町の観光PRを行いました。

期間中訪問団は、今年1月に西川小学校と姉妹校協定を結んだ台北市立南湖小学校と龍安小学校などに訪問し、今後の交流について提案しました。

また、町と協定を結ぶ台湾師範大学の研究発表会に参加し、そば打ちや和菓子づくりなどの日本文化体験と合わせて、特産品の紹介を行いました。

▲台湾師範大学で西川町を PR

西川中3年生が修学旅行を実施 町と繋がりのある企業で学ぶ

5月22日～24日に、西川中学校3年生32名が修学旅行を行い、町や町内企業と関わりのある企業を訪問し、株式会社クリエイターズネクストの窪田望社長とイタリア料理店「アクアパッツァ」等を経営する日髙良実シェフにご講話いただきました。

生徒たちは、窪田社長の講話から、「生きていることが当たり前だと思っていたけれど、生きていることでできなかったようなことができる可能性を追求できるという考え方に触れ、ものの見方が変わりました。常識や先入観にとらわれずに様々な考え方をしたいと思いました」と話しました。

また、日髙シェフの講話では、「講話の後にいただいたグラタンの上に、玉谷製麺所のサクラパスタがのっていました。日髙シェフは他にも河北町の食材を使用するなど山形との繋がりを大切にして料理に取り組んでいるということが分かりました。何を一番大切に料理をされているか質問すると『相手のことを考えて心を込めて作ること』という答えでした。料理の世界も私たちの学校生活も大切にすることは同じだなと学びました」と話しました。生徒たちはお二人から、心地よい刺激と学びをいただき、一回りたくましく成長したように感じられました。

▲日髙社長の料理を味わう生徒たち

▲窪田社長の講話の様子

■**お詫びと訂正**：本紙の令和6年4月号５頁「いどばた会議」の図１において、西川町の数値が「14」と記載していましたが、正しくは「22」です。お詫びして訂正いたします。

NETWORKにしかわ（八一九号）　令和六年六月十四日発行

□編集発行／山形県西川町
〒990-0792 西川町大字海味510 ☎0237-74-2111

□印刷所／寒河江印刷㈱
寒河江市中央工業団地

応援合戦

100m（4年生）

組頭あいさつ

2024.5.26 心一つに優勝目指す！西川小学校運動会

渡し船リレー

70m（2年生）

5月26日、西川小学校で運動会が開催されました。
当日は、青空が広がる絶好の運動会日和。紅組・白組に分かれた児童たちが、自軍の優勝目指して全力で競技や応援に臨んでいました。
保護者からの歓声を受けた児童たちは、徒競走や騎馬戦などの団体競技をはじめ、応援合戦や全学年合同の渡し船リレーなどで練習の成果を発揮。白熱した戦いを繰り広げました。

渡し船リレー

騎馬戦

高学年全員リレー

玉入れ

今月の表紙

6月4日、役場第2庁舎で地区介護予防教室（ミニデイ）対話会を開催し、約40名の方が参加しました。
ミニデイは、高齢者の生活機能の低下を防ぎ、その人らしい生活を実現することを目的に各地域において開催しているものです。
町では、今年度福祉サービスの均一化を目指し、ミニデイの活動を応援しています。
今回の対話会では、ミニデイ再開地域と既存開催地域によるミニデイ開催のための活動内容や困っていることなど、活発な意見交換が行われました。
（2・3ページに関連記事）

編集雑記

西川小運動会の取材中、太陽の周りに虹色の輪という珍しい現象を見ることができました。空からの応援も力にして、青空のもと、元気に全力で競技に取り組む子どもたちの姿がまぶしかったです。（伊藤）

LINE @nishikawa_town

X @nishikawatown

Instagram

西川町について詳しく知りたい方、ご意見・お問い合せなどは、町のホームページhttps://www.town.nishikawa.yamagata.jp/をご覧ください。

6／1 現在の人口と世帯数　人口　男 2,252人（−2）　女 2,352人（±0）　計 4,604人（−2）　世帯数 1,803（+5）　（ ）は前月比

この広報紙は再生紙を使用しています。